



相模大野建設組合 乳がん・子宮頸がんセミナーを開催

6月 21 日(日)相模大野建設組合で乳がん・子宮頸がんセミナーを開催。生命保険会社の方が講師となり行われました。女性のがんの給付申請で最も多いのが、乳がん(53%)、次いで大腸がん、子宮頸がんとなっています。特に子宮頸がんは若い世代に多く 20 歳代後半から発症しています。乳がんの治療後に行われる乳房の再建術では、皮膚に液体を注入するため痛みを伴うとのこと、からだのバランスの維持のために下着で補正することが大切であることなどを学びました。実際に乳がんのしこりに触れられるキットも体験しました。

今回は、ご家族宛てに直接案内を送付し、併せて電話での呼びかけも行われました。セミナー参加者は 20 名でした。セミナー参加をきっかけに 10 年健診未受診であった方が新たに健診の申し込みにつながりました。家族健診受診率アップに向け大きな前進となりました。



湘央建設組合 労働安全衛生大会 & 健康指導員研修会



6月 24 日(水)湘央建設組合で労働安全衛生大会と健康指導員研修会を同日に行いました。労災事故の発生状況の報告のあと、KY 活動の危険予知についての実習と熱中症予防対策について学びました。KY 活動では、グループ毎に熱い議論が交わされました。その後、健康指導員研修会が行われ、新たに 31 名の指導員が誕生しました。既に各支部で測定を経験されている方が多く、お互いに教え合ったりとスムーズに進みました。健康づくりの目的や指導員としての役割を改めて再確認しました。